

新城市民病院 地域医療研修レポート

研修期間 2018/1/8-2/4

トヨタ記念病院 研修医

4週間の研修期間という短い時間ではありましたが、総合診療科の先生を始め、病院のスタッフの方々には診療以外のところでもお世話になりました。トヨタ記念病院からの研修医は初めてお世話になるということで病院の様子や実習の雰囲気など何もわからない状況からの始まりでした。新城市民病院を選択したのは、私が生まれ育った田原市と同じ東三河に属し、医療資源が豊富とは言えず隣の豊橋市民病院や豊川市民病院にお世話にならざるを得ない共通点があったこと、将来私がそういった地域での勤務を希望していることが理由でした。私の生まれ育った町と同じように高齢者が多く、病院に通うにしても交通が発達していない、条件の悪い地域での医療・福祉はどのようなものなのか実際に肌で感じ取ることが必要だと感じていました。

主に午前中の外来診察では初診の予診という形で診察を担当させていただきましたが、豊田とはまた違う落ち着いた雰囲気の外来で時間に余裕を持って深くお話を伺う機会が多かったです。高齢者の独居、通院にタクシーを使用、普段の生活、など豊田の慌ただしい外来では聞くことのできないようなことまで伺うことができました。待たせて文句を言われるようなことは一度もなく、中には定期受診を楽しみにされている方もおり、地域の病院として患者との距離が近い病院であることを実感しました。総合診療科の先生方は忙しい中でも治療の振り返り、フィードバックをしてくださり、自分たちの診療をより良いものにしようと取り組まれている様子をそばで実感しました。勉強会や振り返りの時間は今後も自分の病院に持ち帰って習慣にしていきたいです。若い先生方が第一線で活躍されている姿がとても励みになりました。違う場所ではありますが、私も来年度以降そうあるよう努力していきたいです。

作手診療所や訪問看護・リハビリ、助産所、サマリヤの見学ではさらに患者に近いところで接する機会もあり、普段そのような経験がない私にとって貴重な時間となりました。病院で診療を行っているとしても自宅という当たり前の空間を忘れがちになってしまいます。病気の前に生活があり、いかにそこへ戻してあげられるかを考えた4週間でした。担当させていただいた入院患者さんは4人ほどでしたが、自宅での生活がどうだったか、今後どのような生活をしたいかといった話をさせていただきました。医療のみならず、介護・福祉といったところまでこれまでは考えて入院患者さんと接することはなかったのですが、これを機に患者さん自身の退院後の生活や、支える家族のことまで考えられるようになりたいです。

新城市は近いようで遠い場所であったため、幼い頃に桜淵公園に来た淡い記憶や、鳳来寺山に来た記憶があるくらいでしたが、研修期間には茶臼山、湯谷温泉、少し足を伸ばしてお隣の浜松市、と出かけることができました。食事も長生うどんさんには週に2回はお世話になりました。野麦さんにも行って見たかったのですが残念ながら叶わなかったのもまたいつかの機会に訪問したいと思います。

4週間お世話になりました。将来を見据えて、と言うには短い期間ですが高次医療機関で働いては気がつくことができなかつたことに気づくことができたのは大きな収穫でした。主治医として患者さんと向き合うことが少ない研修医の間にそのような気づきを得ることができよかつたで

す。将来東三河に帰ってくることになったら、それが新城であれ、田原であれ、地域の人々のために一生懸命働ける医師になりたいと思います。ありがとうございました。